

# 参考資料

- I. びわこ文化公園都市および周辺都市の現況
- II. アンケート結果
- III. 将来ビジョン検討委員会検討経緯

# I. びわこ文化公園都市および周辺都市の現況

## 1. 検討対象地域の位置づけ

### (1) 大津市における位置づけ

#### ■大津市都市計画マスタープラン（2017～2031年）

<コンパクト+ネットワークのまちづくり>

大津市都市計画マスタープランの将来都市構造においては、「コンパクト+ネットワークの都市構造を構築する」とし、「鉄道駅周辺等を中心とする地域拠点・生活拠点では、生活に必要な医療・福祉、教育・文化、商業・業務等の都市機能の確保と居住の誘導を図る」としている。そのうえで、「公共交通により、地域拠点・生活拠点を結ぶとともに、基幹的な公共交通（バス等）が通る道路沿道では、居住を促進し公共交通を維持する」としている。

検討対象地域は、「周辺の複数の生活圏を対象として、各生活拠点に配置される機能に加えて、日用品以外の買い物や高度な医療・福祉等の機能が集積する「地域拠点」の一つと位置づけられている。

また、地域別構想では、検討対象地域は東部地域に含まれ、「文化ゾーンの自然と21世紀の健康科学を支える学術・文化のまち」と位置付けられ、「拠点機能の更なる強化とあわせて、各学区と拠点を結ぶ交通ネットワークを再構築するなど、瀬田駅周辺における地域拠点の充実に向けたまちづくり」「自然・学術・文化が共生した地域環境の創造に向けて、豊かな地域資源を生かしたまちづくり」「住民が主体となって定住環境の維持・充実に取り組むなど、住み心地の良い文化性豊かなまちづくり」を目指すとしている。



(出典：大津市都市計画マスタープラン)

## (2) 草津市における位置づけ

### ■草津市総合計画（2021-2032年）

草津市総合計画において、検討対象地域は、製造業等の産業活動を促進するとともに、大学を中心とした様々な分野の人材育成・研究・開発のほか、福祉、医療、文化等の交流活動を促進していく「丘陵・産業・交流ゾーン」と位置付けられている。

また、検討対象地域は、「大学、企業等との連携や草津 JCT・草津田上 IC 等の地域特性を最大限に生かした広域連携により、産業の振興や地域の活性化を促進する」市南部の「まちの拠点」に位置付けられている。

### ■草津市都市計画マスタープラン

草津市都市計画マスタープランにおいて、検討対象地域は、「南部中心核地域」と位置付けられ、地域の都市づくりの目標として、「大学や医療・福祉施設等が立地し、また、高速道路等が通る広域的な交通の要衝でもある特徴を生かし、地域住民、大学、企業等の多様な交流を促進することで、活力があふれる地域を目指します。」としている。

【第6次草津市総合計画 将来のまちの構造図】



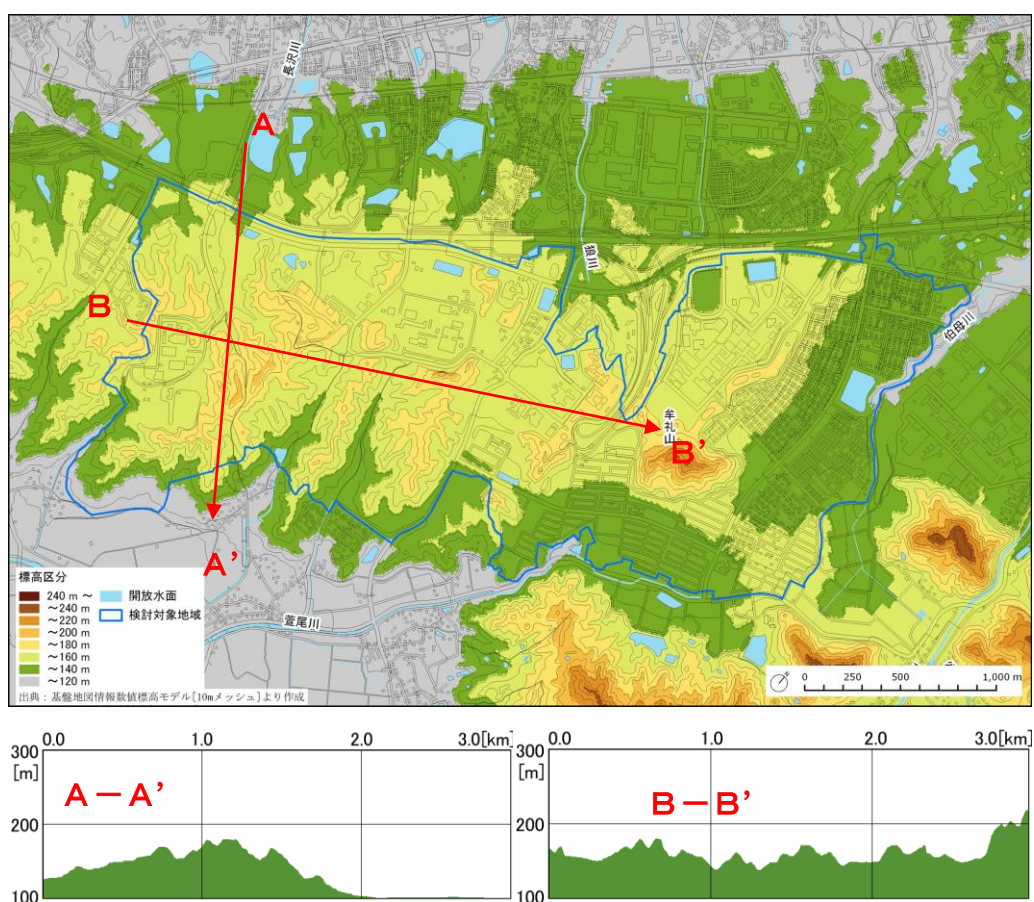
(出典：第6次草津市総合計画)

## 2. 地勢

検討対象地域は、湖南丘陵群のうち瀬田丘陵の一面に位置する。

標高は約 120m から約 220m の範囲にあり、その高低差は約 100m となる。最高標高地点は牟礼山の約 220m である。

検討対象地域一帯を含む丘陵は、下図の断面 A-A' に示すように、北側への傾斜が緩やかである一方、南側は急傾斜となっている。また、断面 B-B' にみられるように、南北方向に細かな谷筋が走っている。



### 3. 人口・世帯数および推移

#### (1) 大津市および草津市の人口・世帯数

大津市および草津市における住民基本台帳による人口・世帯数は、次の通りである。平成24年から令和4年の10年間で大津市は微増、草津市は10%の増加がみられるが、今後は、両市とも横ばいから減少へ向かうと推計されている。

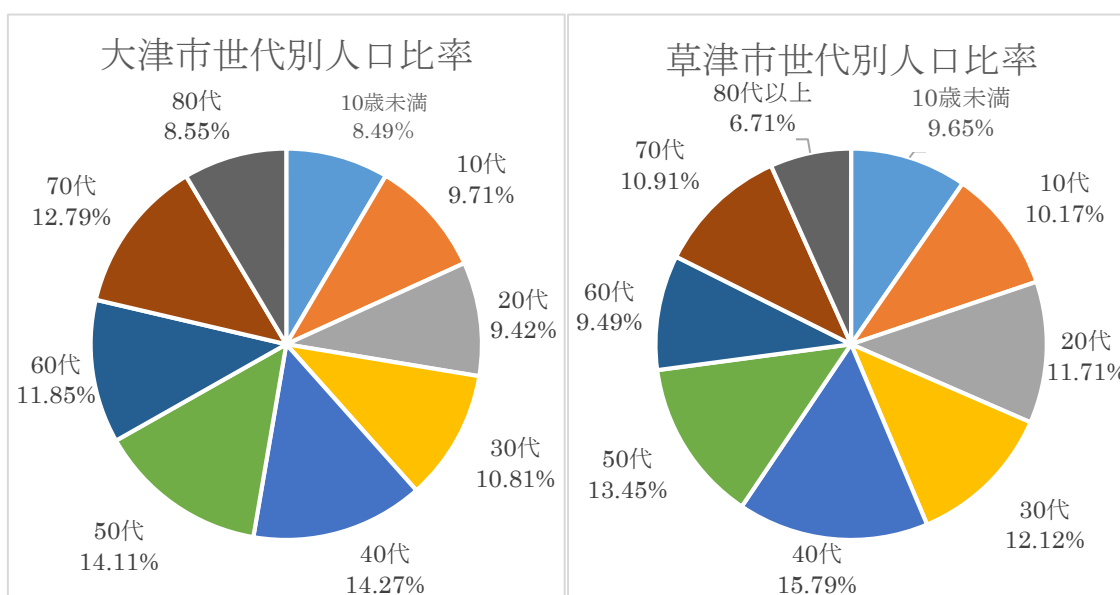
		H24	H29	R4	増加率
大津市	人口	340,339	342,154	343,817	1%
	世帯数	138,919	145,381	154,306	11.1%
	(東部地域)	71,088	75,330	77,385	8.8%
草津市	人口	125,057	132,116	137,702	10.1%
	世帯数	52,165	56,782	62,055	18.9%

(出典：大津市人口統計および草津市統計より)

#### (2) 大津市および草津市の年齢別人口

大津市および草津市における年齢別人口比率は下図のとおり

29歳以下の若い年齢層では、大津市27.61%（平成24年当時30.8%）、草津市31.53%（同33.0%）、60歳以上の世代では、大津市33.19%（同28.5%）、草津市27.11%（同24.9%）となっており、この10年間で、両市とも少しずつではあるが、少子高齢化が進んでいることが分かる。



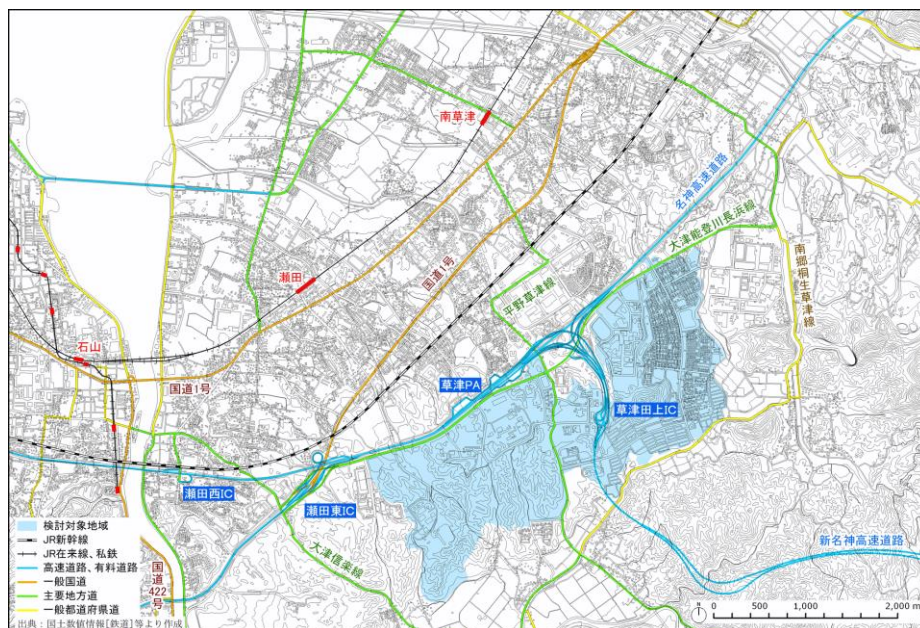




## 5. 交通条件

### (1) 道路

過去 10 年間、検討対象地域の交通条件に大きな変化はないが、令和 6 年度には新名神高速道路大津～城陽間が開通予定、令和 7 年度秋には山手幹線が甲賀市、湖南市から栗東市を通過して国道 1 号線と接続される予定である。また、名神高速道路草津 PA と連携したバスターミナルや、都市計画道路平野南笠線が検討されており、今後、周辺の交通量増加、広域からのアクセス増加が見込まれる。



(参考：周辺交通網地図)

### (2) 鉄道

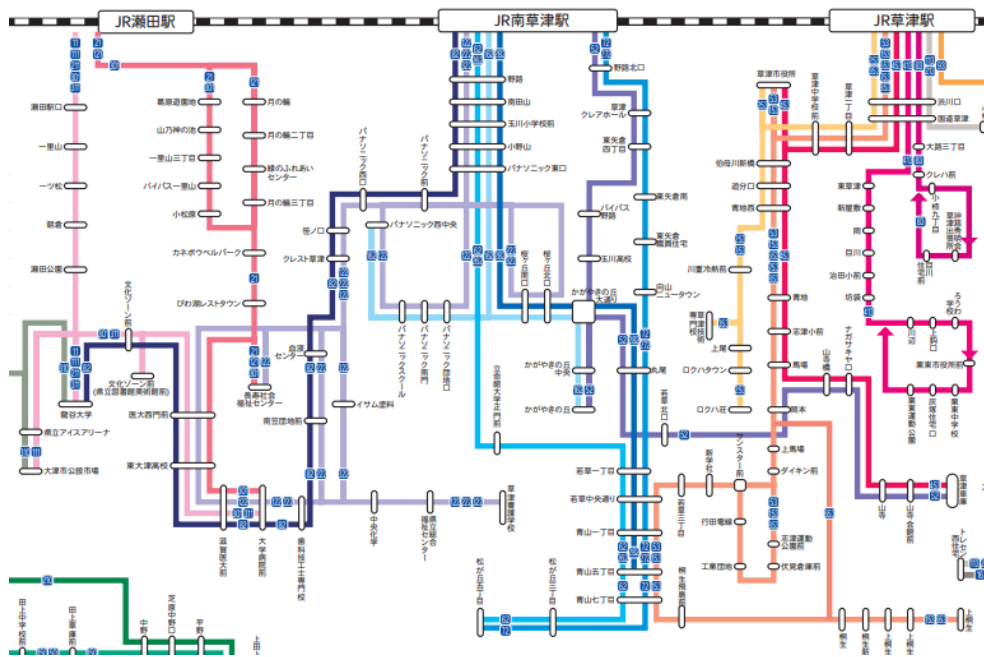
検討対象地域の最寄り鉄道駅は JR 東海道線瀬田駅および南草津駅である。令和 3 年度両駅の一日平均乗車人数は、瀬田駅 15,020 人(平成 24 年度 17,241 人)、南草津駅 23,148 人(同 25,829 人)となり、瀬田駅で 12.9%減少し、南草津駅でも 10.3%減となっている。共に新型コロナウイルスの影響を大きく受けたものと思われ、テレワークの増加や大学のオンライン授業の増加を受け通勤通学利用者が減り、令和 4 年 3 月には、ダイヤ改正により JR 琵琶湖線の運行本数も削減された。

平成 24 年当時検討されていた、瀬田駅～南草津駅間の新駅については、現在のところ検討されていない。

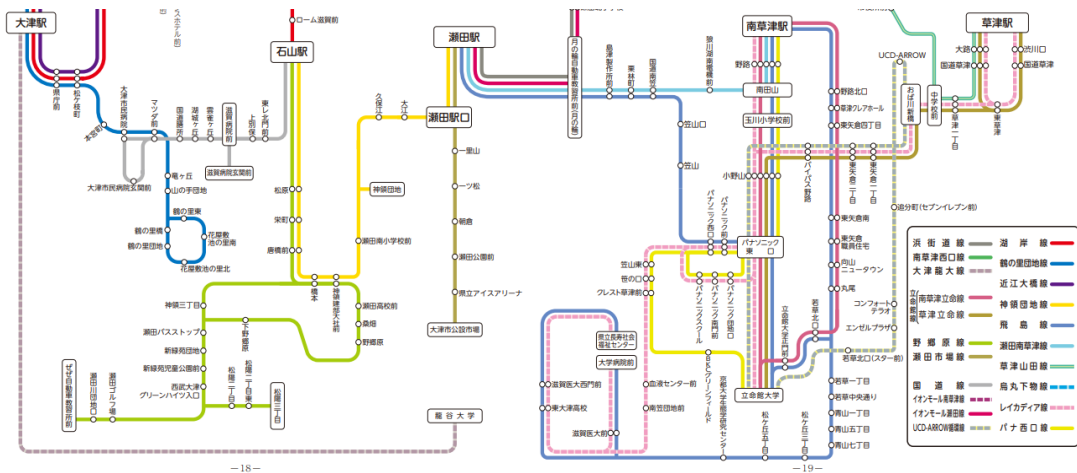
### (3) バス路線

最寄り鉄道駅から検討対象地域までのバス路線は、近江鉄道バスおよび帝産バスが地域全体で一日当たり約 570 便（平成 24 年当時約 480 便）となっており、新たに県立アイスアリーナや大津公設市場を経由する便や大津駅～龍谷大学直通便が設定されている。

他に地域コミュニティバス「まめバス」が草津駅～南草津駅～医大間を一日 10 便（平日）運行している。



出典：帝産バス路線図より作成



出典：近江鉄道バス路線図より作成



## 6. 主要施設

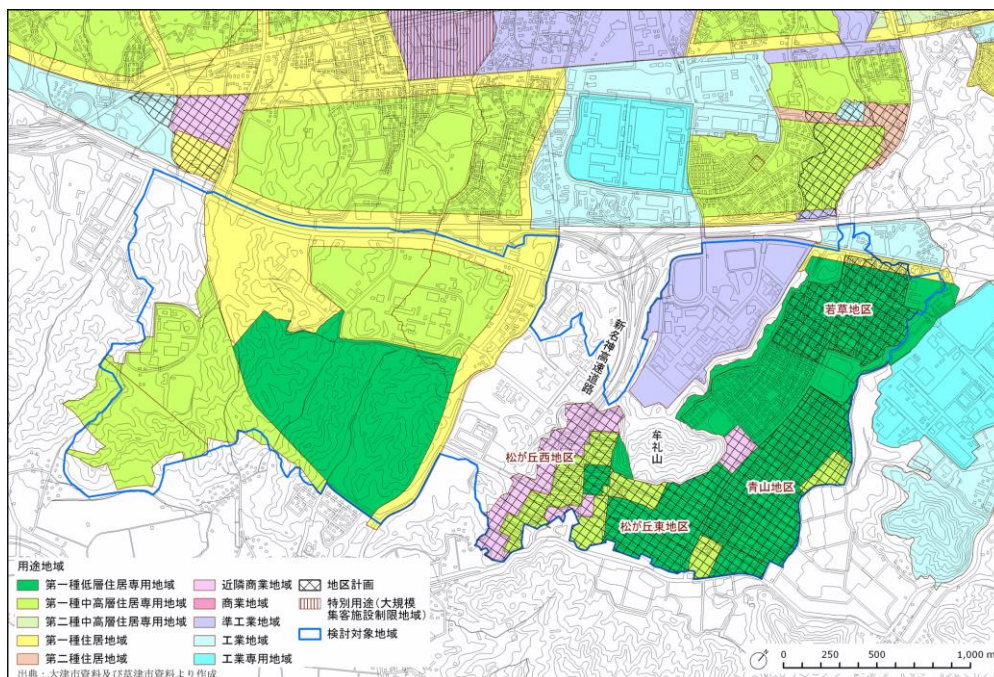
令和3年6月に県立美術館がリニューアルし、令和4年12月に県立アリーナが完成予定。県立図書館の年間来館者は約188,000人(R2)、県立美術館は約110,000人(リニューアル前H28)となっており、滋賀医科大学附属病院では、一日に約1,220人の外来患者を含め約2,000人が来院している。

検討対象地域には、滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学が立地しており、3大学学生数合計は、平成22年度には23,728人だったが、学部移転等の影響により、現在は20,635人(令和3年5月1日現在)となっている。

## 7. 都市計画の状況

- (1) H28.10.12 新生美術館整備に向けて既存建築物の不適合状態を解消するため、文化ゾーン内の施設建設区域を「第2種住居地域」に変更(大津市告示)
- (2) H29.11.29 県立アリーナが「観覧場」を有する建築物となることから、その計画地について「第1種低層住居専用地域」から「近隣商業地域」に変更(大津市告示)

以上、2点の変更があったが、その他大きな計画の変更はない。

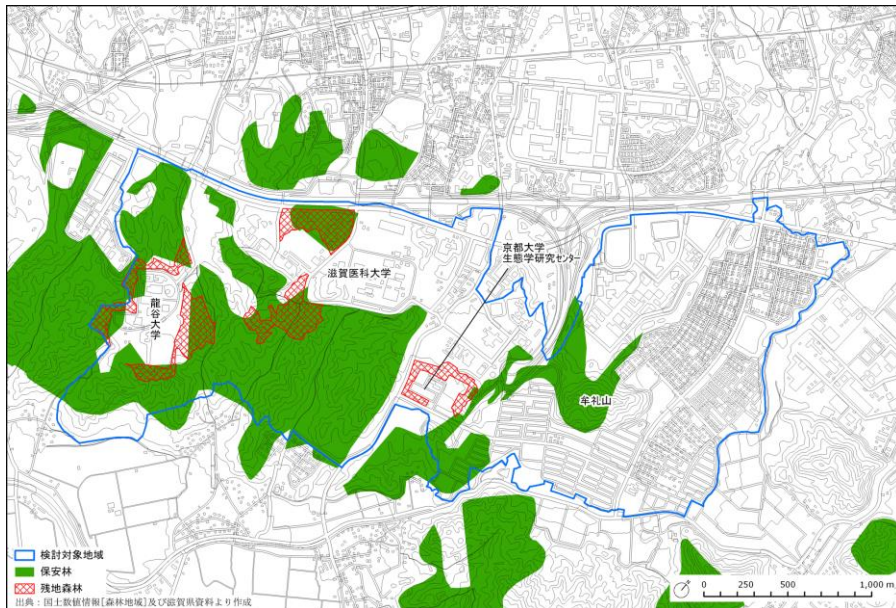


(参考) ビジョン策定時の都市計画図

## 8. 法規制等

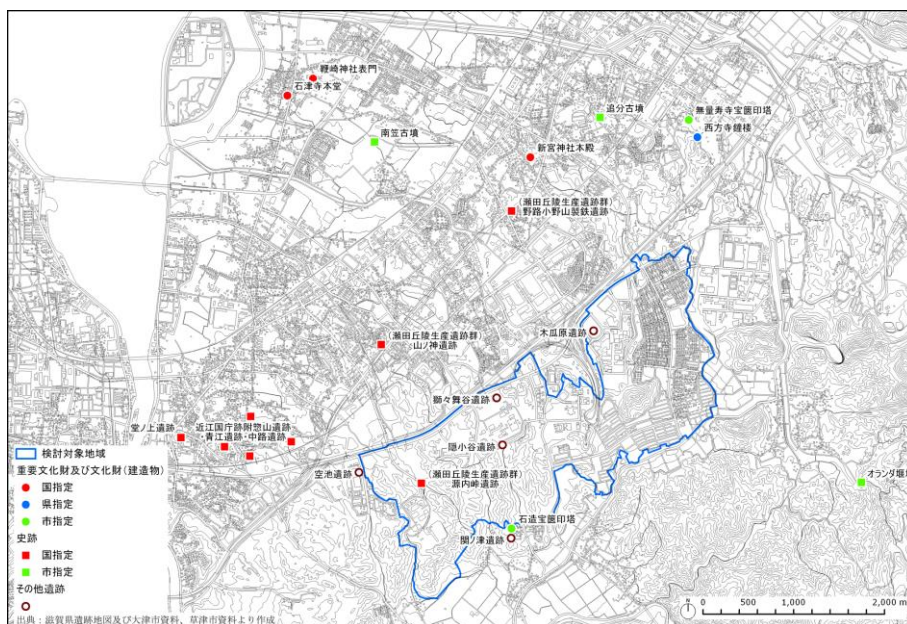
### (1) 保安林および残地森林

牟礼山及び西部の丘陵を中心に、検討対象地域の樹林地の大部分（約 182ha、地域全体の約 31.5%※）が、保安林に指定されている。また、滋賀医科大学及び龍谷大学キャンパス、京都大生態学研究センター周辺の森林（約 33ha、地域全体の約 5.7%※）が残置森林である。過去 10 年間、検討対象地域における保安林および残地森林の状況に変化はない。



### (2) 文化財

検討対象地域及び周辺の文化財等の分布は、以下に示す通りである。検討対象地域内においては、国指定史跡瀬田丘陵生産遺跡群（源内峠遺跡）が所在する。



## II. アンケート結果

### 1. しが web アンケートプラス調査

<主な調査結果>

Q1 「びわこ文化公園都市」とは、大津市瀬田・上田上地域から草津市に広がる丘陵地であり、3つの大学をはじめ、文化、芸術、医療、福祉、教育、研究、レクリエーション等の多様な施設が集積する地域です。

あなたは、「びわこ文化公園都市」という名称を知っていますか、また行ったことがありますか。(答えは1つ)

1 位:名称も知らない(この調査で初めて知った)し、 行ったこともない	45.2%
2 位:名称も知っているし、行ったこともある	25.8%
3 位:名称は知っているが、行ったことはない	15.4%
4 位:名称は知らない(この調査で初めて知った)が、 行ったことはある	13.6%

・「名称も知らない(この調査で初めて知った)し、行ったこともない」と回答した人は45.2%と最も多く、次いで「名称も知っているし、行ったこともある」の25.8%となっている。

・行ったことがあるか否かに関わらず、「名称は知らない」と回答した人は、合わせて58.8%となっており、県民の認知度が低いことが窺える。

・名称を知っているか否かに関わらず、「行ったことはない」と回答した人は、合わせて60.6%と、半数を超えている。

Q2 「びわこ文化公園都市」内にある次の施設のうち、行ったことのあるものはどれですか。(答えはいくつでも)

1 位:ひとつもない	40.4%
2 位:文化施設(県立図書館、夕照庵)	35.0%
3 位:医療施設(滋賀医科大医学部付属病院、 滋賀県赤十字血液センターなど)	32.4%
4 位:芸術施設(県立美術館)	26.2%
5 位:教育、研究施設(龍谷大学、滋賀医科大学、 立命館大学、東大津高校、草津養護学校、 県埋蔵文化財センターなど)	25.4%
6 位:レクリエーション施設(子ども広場、わんぱく 原っぱなど)	13.0%
7 位:運動施設(県立アイスアリーナ)	12.8%
8 位:福祉施設(長寿社会福祉センター、障害者 福祉センターなど)	8.6%



9 位:その他 0.4%

- ・例示された施設のうち、行ったことのあるところが「ひとつもない」と回答した人が、最も多く 40.4%となっているが、Q1 で、「行ったことはない」と回答している人が 60.6%となっており、これらの差である約 20%の人は、エリア内の施設と知らずに利用した可能性が高い。
- ・行ったことのある施設を、率の高い順からみると、「文化施設」が 35.0%、「医療施設」が 32.4%、「芸術施設」が 26.2%、「教育、研究施設」が 25.4%などとなっており、県立図書館、滋賀医科大学医学部付属病院、県立美術館、大学などの利用が多いことが窺える。
- ・80 歳以上では、「文化施設」、「芸術施設」、「教育、研究施設」がそれぞれ 62.5%、「医療施設」が 87.5%と、他の年代と比較して、高い率となっている。なお、20 歳未満では、「教育、研究施設」が 50.0%となっており、エリア内の大学に通学する学生が多いことが窺える。

**Q3** 「びわこ文化公園都市」には、今までに何回行きましたか。(答えは 1 つ)

1 位:行ったことはない	40.4%
2 位:5 回以上	29.0%
3 位:1~2 回	17.6%
4 位:3~4 回	13.0%

- ・「行ったことはない」と回答した人が最も多く、40.4%となっており、この数字は Q2で、行った施設はひとつもないと回答した人の比率と符合する。
- ・次いで、「5 回以上」と回答した人の 29.0%となっており、行ったことのある人は比較的重複利用の多いことが窺える。

**Q4** Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。誰と行きましたか。(答えはいくつでも)

1 位:家族(親戚も含む)と	69.1%
2 位:一人で	45.3%
3 位:友人と	24.8%
4 位:その他	2.0%

- ・「家族(親戚も含む)と」と回答した人が最も多く、69.1%となっており、次いで「一人で」の 45.3%、「友人と」の 24.8%となっている。

**Q5** Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。行った理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:目的の施設(県立図書館、滋賀医科大学付属病院等)があったから	76.2%
2 位:散策や散歩をしたかったから	27.9%
3 位:魅力的な催しがあったから	20.5%
4 位:子どもと屋外で遊びたかったから	14.1%
5 位:友人等のすすめがあったから	11.4%



- |                   |      |
|-------------------|------|
| 6 位:通勤先、通学先があったから | 6.4% |
| 7 位:その他           | 5.0% |
- ・「目的の施設があったから」と回答した人が 76.2%と最も多く、次いで「散歩や散策をしたかったから」の 27.9%、「魅力的な催しがあったから」の 20.5%となっている。
  - ・「子どもと屋外で遊びたかったから」と回答した人は、40歳代が最も多く、22.2%となっており、「通勤先、通学先があったから」と回答した人は、30歳未満では約20%となっており、エリア内の大学に通学する学生が多いことが窺える。
  - ・「その他」においては、「受験」との回答が複数みられた。

**Q6** Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。その際の主な交通手段は何ですか。(答えは1つ)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1 位:自家用車            | 77.9% |
| 2 位:鉄道とバスの乗り継ぎ      | 10.1% |
| 3 位:徒歩または自転車        | 5.0%  |
| 4 位:バス              | 2.3%  |
| 5 位:鉄道と徒歩           | 2.0%  |
| 6 位:二輪車(原動機付自転車を含む) | 1.7%  |
| 7 位:その他             | 0.7%  |
| 8 位:鉄道とタクシーの乗り継ぎ    | 0.3%  |
- ・「自家用車」と回答した人が 77.9%と圧倒的に多く、次いで「鉄道とバスの乗り継ぎ」と回答した人の10.1%などとなっている。
  - ・「タクシー」と回答した人はいなかった。

**Q7** Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。また行きたいですか。(答えは1つ)

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1 位:まあ行きたい    | 44.3% |
| 2 位:行きたい      | 34.2% |
| 3 位:あまり行きたくない | 18.8% |
| 4 位:行きたくない    | 2.7%  |
- ・「まあ行きたい」と回答した人は 44.3%と最も多く、次いで「行きたい」と回答した人の34.2%となっており、78.5%の人が、再度行くことに対して肯定的であることが窺える。なお、通勤や通学、病院への受診などで行く人については、エリア内の施設に行く必然性があることから、「まあ行きたい」、「行きたい」の選択肢を選んだ可能性がある。

**Q8** 問7で「あまり行きたくない」または、「行きたくない」と回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか。(答えはいくつでも)

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1 位:交通の便が悪かった               | 40.6% |
| 2 位:その他                     | 18.8% |
| 3 位:施設が点在していて、施設間の移動に時間を要した | 14.1% |
| 施設が充実していなかった(展示物が少ない、子どもが   | 14.1% |

遊ぶには中途半端など)

5 位:駐車場が狭く混雑していた	12.5%
飲食施設がなかった	12.5%
7 位:駐車場またはバス停と、施設とが離れていて不便であった (特に荒天時)	10.9%
8 位:施設が老朽化・陳腐化していた	4.7%
案内板が少なく、施設の所在がわかりにくかった	4.7%
施設の職員の対応が悪かった	4.7%
11 位:樹木が生い茂っていて、暗かった (特に荒天時や夕方)	1.6%

・「交通の便が悪かった」と回答した人が 40.6%と最も多く、男性が27.8%なのに対し、女性では57.1%に達している。

・次いで「その他」と回答した人が多かったが、その中で「行く必要、目的がなくなった」などの回答が複数みられた。

・「駐車場が狭く混雑していた」および「飲食施設がなかった」は、共に 12.5%だが、男性が3.6%なのに対し、女性では19.4%となっている。

**Q9** 問3で「行ったことはない」と回答された方にお尋ねします。行ったことがない理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:「びわこ文化公園都市」について知らなかったから	75.7%
2 位:目的の施設や場所がないから	15.8%
3 位:交通の便が悪いから	8.9%
4 位:魅力的な催しが無いから	6.4%
5 位:飲食施設がないから	4.5%
6 位:駐車場が狭く混雑するから	3.0%
7 位:その他	2.5%

・「「びわこ文化公園都市」について知らなかったから」と回答した人が75.7%と最も多く、「そもそも知らないから、行くこともないし、行かない」という人が多いことが窺える。

・次いで「目的の施設や場所がないから」の15.8%、「交通の便が悪いから」の8.9%、「魅力的な催しが無いから」の6.4%などとなっている。

**Q10** 「びわこ文化公園都市」をより快適にご利用いただくにはどのような改善が必要だとおもわれますか(答えはいくつでも)

1 位:施設の充実	45.0%
2 位:交通アクセスの改善(公共交通の充実等)	37.6%
3 位:便益施設(コンビニ等)、飲食施設(レストラン等)の設置	34.0%
4 位:駐車場の拡張、増設	26.0%
5 位:PR(SNSによる発信等)の強化	18.2%
6 位:施設の改修、美化	18.0%
7 位:施設間の移動手段の確保(小型バスの運行等)	16.4%
8 位:案内看板の増設	12.2%

9 位:その他

4.0%

- ・「施設の充実」と回答した人が 45.0%と最も多く、次いで「交通アクセスの改善」が 37.6%、「便益施設、飲食施設の設置」が 31.8%、「駐車場の拡張、増設」が 26.0%となっており、まずは、施設の魅力度向上そして交通の利便性向上が必要と考える人が多いことが窺える。

**Q11** 滋賀県では「びわこ文化公園都市」には、もっと賑わいが必要と考えています。そのためには、どのような取組が必要だと思いますか。(自由記述)

500人のうち334人の方(66.8%)からご意見をいただき、その主なものは次のとおりである。

・広報や宣伝といった PR(SNS やテレビなどで)	91人
・イベントの開催	73人
・交通の利便性向上など	42人
・飲食施設等(カフェ、レストラン、コンビニなど)の設置	25人

なお、別途 103 人の方から「わからない」、「特にない」などのご意見をいただいております、そもそも「びわこ文化公園都市」の名称や概要を知らず、意見の書きようがないと考える人も相当数に上ることが窺える。

## 2. びわこ文化公園都市利用者意向調査結果について

### <主な調査結果>

#### Q1 お住まいはどちらですか

1位:大津市	36.19%
2位:県外	33.58%
3位:その他県内他市	11.19%
4位:草津市	9.7%
5位:守山・栗東・野洲市	9.33%

- ・地元大津市と回答した人が 36.19%と最も多く、草津市と回答した人と合わせると 45.89%と約半数となる。
- ・12 月以降「滋賀アリーナ」のオープンおよび滋賀レイクスの試合開催により、県外その他広域からの来訪者が増加した。

#### Q2 年代を教えてください

1位:40代	25.75%
2位:50代	20.15%
3位:30代	19.03%
4位:20代	16.04%
5位:10代以下	7.84%
6位:60代	7.46%
7位:70代以上	3.73%

- ・「40代」と回答した人が 25.75%で最も多く、次いで「50代」と回答した人が 19.03%となっている。
- ・「10代以下」は 7.84%と少ない。

#### Q3※ 一日フリーパスを使って利用された施設はどれですか(複数回答可)

1位:滋賀アリーナ	30.93%
2位:びわこ文化公園	18.4%
3位:県立図書館	16%
4位:県立美術館	13.07%
5位:フォレオ大津一里山	12.53%
6位:滋賀医大付属病院	2.4%
7位:大学	1.87%
8位:県立アイスアリーナ	1.33%
その他	3.47%

- ・「滋賀アリーナ」と回答された人が 30.93%、次いで「びわこ文化公園」が 18.4%となっ



ている。

※令和4年12月「滋賀アリーナ」のオープン前後で結果に大きく変化があった。

Q4 複数の施設を利用された方は、その移動手段を教えてください。

1位:利用施設は一つ	61.54%
2位:「徒歩」	18.88%
「バス」	18.88%
3位:その他	0.7%

・「利用施設は一つ」と回答された方が61.54%と最も多く、次いで「徒歩」「バス」が18.88%と続く。複数の施設を利用される方が少なく、滋賀アリーナのオープン後はさらにその傾向が強まっている。

Q5 「利用施設は一つ」と回答された方に質問です。その理由は何ですか(複数回答可)

1位:時間がなかった	57.71%
2位:利用したい施設がなかった	29.85%
3位:移動手段がなかった	6.97%
4位:利用したい施設が分からなかった	5.47%

・半数以上の方が「時間がなかった」と回答、次いで「利用したい施設がなかった」と回答した方が29.85%となっている。

Q6 複数の施設を利用しやすくするためには、何が重要だと思われますか(複数回答可)

1位:巡回バス等施設間の移動手段の充実	34.35%
2位:共同イベント・キャンペーンの開催	21.75%
3位:飲食店等のサービス施設の充実	20.33%
4位:複数施設利用時の割引・特典	18.7%
5位:その他	4.87%

・「施設間移動手段」の充実が34.35%と高く、「イベント、キャンペーン、特典」を求める声も多い

Q7 また一日フリーパスを利用したいと思いませんか。

1位:はい	97.76%
2位:いいえ	2.24%

・ほぼ全員が「はい」と回答

Q8 これまでびわこ文化公園都市を訪れたことがありますか

1位:はい	52.61%
2位:いいえ	47.39%

・約半数がリピーターで、新規来訪者の大部分は「滋賀アリーナ」オープン後に来訪

Q9 Q8で「はい」とお答えの方に質問です。その際の交通手段はなんですか

1位:自家用車	41.54%
2位:バス	35.75%
3位:自転車	14.01%
4位:徒歩	8.7%

・「自家用車」と回答した人が41.55%、次いで「バス」が35.75%となっている。

Q10 この地域が「びわこ文化公園都市」と呼ばれていることを御存知ですか

1位:聞いたことがない	45.15%
2位:知っている	33.95%
3位:聞いたことはある	20.90%

・半数近くが「聞いたことがない」と回答、「知っている」と回答した人は33.96%となっている。

Q11 令和3年6月に「県立美術館」がリニューアルしたことを知っていますか

1位:はい	47.76%
2位:いいえ	53.24%

Q12※ 令和4年12月に「滋賀アリーナ」がオープンすることを御存知ですか

1位:はい	28.95%
2位:いいえ	71.05%

(※滋賀アリーナを目的地とされた方を除いた結果)

・71.05%の人が「いいえ」と回答。新しく大規模な施設ができることも広く周知されていないことが分かる。

Q13 また「びわこ文化公園都市」を利用したいと思われませんか

1位:是非利用したい	46.27%
2位:今回のようなフリーパスがあれば利用したい	46.27%
3位:どちらでもない	5.22%
4位:利用したいと思わない	2.24%

・多くの人が再訪に前向きであり、また、キャンペーン・割引などインセンティブがあれば再訪したいという人も多い。工夫次第で、リピーター獲得に繋げることができることが分かる。

Q14 再度訪れるとすると、次回からはどの交通手段をお考えですか

1位:バス	63.25%
2位:バス・自家用車	24.62%
3位:自家用車	10.61%
4位:徒歩	0.76%
4位:その他	0.76%

・次回以降も多くの方が「バス」と回答。

(※バス利用者に対するアンケートである点には、注意が必要)

Q15 より快適にご利用いただくための改善点を教えてください

1位:巡回バス等の施設間移動手段の確保	29.67%
2位:飲食店等の設置	19.17%
3位:雨天時対策の実施	13%
4位:ホームページ・SNS等情報発信の充実	12.67%
5位:案内看板・パンフレット等の充実	11.32%
6位:駐車場の増設	6.67%
7位:施設の改修	4.33%
8位:その他	3.17%

・「巡回バス等の施設間移動手段の確保」と回答した人が 29.67%、次いで「飲食店等の設置」19.17%となっている。

Q16 「びわこ文化公園都市」のにぎわいについて(自由記述 最大 400 字)

滋賀県では、「びわこ文化公園都市」にもっとのにぎわいが必要だと考えています。

そのためにどのような取組が必要だと思われるか。御意見をお聞かせください。

・多くの御意見、アイデアをいただく中で、「広報や宣伝といった PR に関すること」、「交通の利便性向上」、「飲食施設等(カフェ、レストラン、コンビニなど)の充実」に関する意見が多く、これは、先に実施した「しがwebアンケートプラス調査」と同様の結果となった。

【御意見一例】

○たくさんの方が訪れられるようなイベントの充実をして欲しい。

○周辺の大学を巻き込んだイベントの実施

○体験教室、研修会、音楽会、屋外催事など、ここでないと体験出来ないことを考え、実施する。

○親子で楽しめるイベントを企画する。

○県外の人でも県内の人でも惹かれるような滋賀県の名物的なモノ、飲食できる場所が増えるとにぎわいそう。

○より多くの方が楽しめるように大人でも子供でも遊ぶことができる遊具を整備する必要があると思う。

○有料の BBQ 施設、キャンプ場の開設を希望します。炭などの処分や環境問題もあるためお金を払って皆が気持ちよく使用できる施設が欲しい。滋賀県のものなので、滋賀県民は安く、他県民は多少高いなどのアドバンテージがあってもいい。

○子どもが体験できる施設、漫画アニメ等のポップカルチャーの発信。

○子連れ向けの安価なテイクアウト、ランチ施設があれば1日遊びたい。

○こどもが訪れやすい施設が増えたり、魅力的なキャンペーンがあると嬉しいです。

○常設の飲食店が敷地内にあると良いと思います。特に子連れでも入りやすい雰囲気、メ

ニューがあると助かります。(コンビニもあると便利です)

- 自然を感じ楽しめる景観、それと飲食等を結びつける(バーベキュー、魚の掴み取り、捕まえた魚をその場で焼いて食べる等)
- 子供が楽しめる場所、また行きたい！と言ってくれるような施設があれば、親はまた連れていくと思います。
- せっきくの県立美術館なのに子育て世代に周知されていないのが残念。展示内容も、もう少し大衆向けにしたら良い気がする。
- 一時的なイベントも良いですが、施設のしっかりした更新やバス停留所の整備等をしっかりしていく事が大切なのではないでしょうか。
- バス停留所も新しく設置されて利便性も増しました。願わくば、バス乗車時に ICOCA が使用できるとより利便性が増すと思います。
- バスの運賃をゾーン制や均一制にするのも分かりやすくなると思います。
- バスの本数が 30 分に 1 本しかないのにも関わらず、大学生でいっぱい、途中乗るのを諦めた人が数人いらっしまったので、公共交通機関での訪問を推奨するのであれば、土日のバスの増便等、ダイヤの見直しが必要だと思います。
- バスの本数が少なく、各施設間の移動に時間がかかると感じた。
- 横の移動ができるバスの路線を増やすか、レンタル電動自転車(各施設に乗り捨て可)など考えてほしい。
- び文公園内を移動するバスが走っていたら、フリーパスで美術館から東の方へも行っていったと思います。
- JR とバスとのお得な連絡切符などを作ってほしいです。京都市から参加したのですが、公共交通機関を充実してほしいです。
- 瀬田駅からバスを乗り継いでとなると、足を運ぶのにハードルを少し感じました。石山駅周辺に住んでいるのですが、石山駅からバスが出ていれば、もっとたくさん利用すると思います。
- 誰でも遊ぶことができる遊具を整備して、使い方動画をネットで配信すれば、より多くの方が興味を持って来て、公園を訪れるようになると思います。
- 情報の継続的な発信。場所の周知。宣伝力を上げる。
- イベント開催時に、事前に SNS 等を活用した広報に力を入れる取り組みが、必要だと思います。
- 自分から情報を取りに行かないと分からないことが多い。意識しなくても入ってくる告知があれば良いと思う。



### Ⅲ. 将来ビジョン検討委員会開催経緯

「びわこ文化公園都市将来ビジョン」を検討するため、下記のとおり3回の委員会を開催した。

#### 第1回びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会

日時：令和4年6月30日（木）午前10時～12時

場所：滋賀県立図書館 大会議室

議題：（1）現行ビジョンについて

- ・現行ビジョンの概要
- ・現行ビジョン策定から10年間の振り返り
- ・「びわこ文化公園都市」の現在

（2）検討の進め方について

#### 第2回びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会

日時：令和4年9月7日（水）午前10時～12時

場所：滋賀県立図書館 大会議室

議題：（1）第1回検討委員会まとめ

- ・現行ビジョン策定から10年間の振り返り
- ・「意見」「キーワード」まとめ

（2）アンケート結果報告

- ①しがwebアンケートプラス調査
- ②帝産バスモニターアンケート（中間報告）

（3）将来ビジョン改定の方向性について

- ・改定のポイント

#### 第3回びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会

日時：令和5年1月19日（木）午前10時～12時

場所：滋賀県立美術館 木のホール

議題：（1）第2回検討委員会まとめ

（2）改定版将来ビジョンのとりまとめについて

びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会委員名簿

(敬称略・順不同)

委員属性 1	委員属性 2	所 属
学識経験者	外部学識	【委員長】 滋賀県立大学 環境科学部 建築デザイン学科 教授 村上 修一
	立地施設学識	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授 岡井 有佳
	立地施設学識	龍谷大学 社会学部 コミュニティマネジメント学科 准教授 築地 達郎
地域代表	大津市	瀬田東学区自治連合会長 仲川 欣伸
	草津市	南笠東学区まちづくり協議会長 清水 和廣
行政機関	大津市	大津市政策調整部長 平尾 伸之
	草津市	草津市総合政策部長 木村 博
	滋賀県	総合企画部次長 松田 千春
		土木交通部技監 黒澤 伸行 (安心と活力の地域づくり担当)

(事務局:滋賀県総合企画部 新駅問題・特定プロジェクト対策室)

(オブザーバー:びわこ文化公園都市活性化検討ワーキンググループ)